

NPO法人再生医療推進センター平成23年度理事会議事録

日時：平成23年5月28日（土） 17時00分～17時55分

場所：NPO法人再生医療推進センター事務局（函谷鉾ビル5階南室；京都市下京区）

出席者：理事（井上一知 大熊藍子 饗庭一慶 金澤正憲 川原美枝 木村正弥
萩原明郎 藤井康雄 星野順一 山岸久一）

欠席者：理事長への一任了解

理事（角昭一郎 日裏彰人 大坪孝雄 河瀬斌 古賀まり 小茂川邦彦
清野裕 塚田敬義 同前雅弘 長谷川豊 宮本正章）

理事長への一任了解

監事（大熊正人）

議事の経過の概要及び議決の結果

井上理事長より、定刻どおりに平成23年度理事会の開催が宣言され、本会議は定足数を満たし有効である旨が告げられた後に、以下の報告・審議が行われた。

① 役員及び会員に関する現状報告

理事長より、現在の役員、正会員の構成、及び、正会員の人数や都道府県別の分布等に関する説明が行われた。次年度は役員改正の時期に当たり、NPOの発展にとって理事の果たす役割は重大であり、次年度の理事会で詳細な協議を行う予定である。

② 平成22年度会計報告

川原理事より、平成23年3月31日現在の特定非営利活動に係る事業会計財産目録、ならびに平成22年4月1日から平成23年3月31日までの特定非営利活動に係る事業会計収支決算の報告があり、全会一致で承認された。会費の未収が昨年に比べてやや増えていることが明らかにされた。

③ 平成23年度予算案

川原理事、及び理事長より、平成23年4月1日から平成24年3月31日までの、特定非営利活動に係る事業会計収支予算案の報告があり、全会一致で承認された。

④ 新理事推薦

井上理事長より、樋口靖展氏を理事に推薦したいとの提案がなされた。樋口氏は

同志社大学大学院工学部の修士課程に在籍中であり。恩師の饗庭理事から御紹介いただいた。昨年11月に樋口氏のお父さんがお亡くなりになられた。生前、お父さんは再生医療に大変関心を寄せられ、お亡くなりになられる直前まで再生医療のことを熱意をこめて話しておられた。樋口氏ご本人もお父さんの影響もあり、自然と再生医療に興味を抱くようになられ、是非、再生医療のボランティア活動に参画したい、特に、当NPO法人の根幹をなす再生医療のホームページ活動にボランティアとして参画したいとの強い御希望を吐露された。ホームページに造詣が深く、何よりお人柄が素晴らしく、社会に貢献したいという気高いお気持ちの持ち主であり、若くて熱意あふれる樋口氏は、まさしく当NPOにとって最も望まれる人材の一人であり、理事推薦に関して全員の賛同が得られた。樋口氏にもオブザーバーとしてご出席いただいていたので、自己紹介、及び、理事就任後の抱負についてお話をいただいた。できるかぎり多くの方に見ただけのようなところにも負けないようなホームページの作成・編集にあたりたいとの強い決意を述べられた。

⑤ 新しいホームページについて

井上理事長から、すでに本年3月に樋口氏に新しいホームページの作成を依頼していた旨の報告がなされた。当NPO法人のボランティア活動の根幹をなすホームページの刷新は、今後のNPOの社会貢献活動の発展を左右する重要なテーマであり、これまでホームページの作成に骨身を惜しまない多大な御尽力をいただいた長谷川理事を始めとする何名かの理事の方々と協議を行った後に、さらに樋口氏を交えて協議を行い、新しいホームページの在り方について一定の方向性を示し、樋口氏に新しいホームページの作成を依頼した。樋口氏が理事会までに新しいホームページを作成し、理事会で説明して承認されたのちに掲載することになっていた。

理事会で樋口氏により、以下の通り新しいホームページの概要の紹介がなされた。

これまでのものを、最新のものに

文字サイズ：40パーセント拡大を施行し読みやすくした。

デザイン：統一感がないところを統一感を持たせるように工夫した。

行間：拡大し余裕をもたせた。

サイト内機能検索の導入。

グーグルのサイト内検索の設置。

軽いホームページの作成； これまでは重いホームページであったが、55パーセントおさえることができた。

データベースの作成； 500ページ分あるものが10秒未満で処理可能になった。

自由自在の拡張性：動画・ビデオ掲載が可能になった。

必要な項目のみ掲載。

トップページの変更が可能。
全てのページからトップページに戻れる。
会員募集のお知らせ→目立つようになった。
見出し；色等わかりやすくした。
過去のお知らせ一覧作成施行。
議事録→講演会一覧に掲載
関係先のリンク→不要なものを削除
会員・寄付一覧→新たに掲載
問合せ→相談室と一体化施行

以上、樋口氏から新しいホームページに関する詳細な説明がなされ、出席理事全員の承認が得られ、新しいホームページが公開されることになった。
さらに、ホームページに関する種々の提案がなされ、議論の結果以下の案件が承認された。

情報ひろば；一切書き込みがない。管理が困難であり、各ページを充実させるために廃止する。

動画：講演者の許可を得た後に積極的に掲載していく。Uチューブ掲載（15分ぐらい）を考慮する。

広告掲載→受け入れ可能。

再生医療について；2006年まででとまっている。

再生医療関連記事；理事が積極的に新しい情報や特集記事を発信していく。

内容を大幅に充実させ、我が国における再生医療の啓発と普及をリードしていけるようなホームページをめざす。

⑥ 認定NPO法人申請後の状況と対策

平成18年に認定NPO法人取得の申請手続きを施行した。平成18年10月には大阪国税局から資格審査担当の方に2日間にわたり当NPOの事務所にお越しいただき、帳簿や種々の資料を点検していただき結果、当NPO法人のボランティア活動の柱である患者さんや一般市民の方々を対象とする日常の幅広いホームページ活動（再生医療相談室等）や、多くの患者さんや一般市民の方々に参加していただいている無料の全国的な講演会活動等の公益性、及び、社会的貢献度は秀逸であり、認定NPO法人にふさわしい資格を有すると判断された。認定NPO法人取得に向けての懇切丁寧なアドバイスをいただいたが、ホームページには改正前の定款がそのまま掲載されていたことが判明し、その理由で認定法人の取得はなし得なかった。金澤理事に修正・再校閲をしていた

だいた改正後の定款をPDFで掲載することに関して、全員の了承が得られた。改正後の定款が新しいホームページへ掲載されることになり、改めて認定法人取得申請の手続きを行う旨、全会一致で了承された。

昨年理事に就任した川原理事に認定法人取得申請の手続きをしていただくことになり、全会一致で了承された

認定 NPO 法人が承認されると、税金控除の対象となる寄付金収入の大幅な増加により、NPOのボランティア活動のより一層の充実や、より多くの患者さんや市民の方々への社会貢献の実現が可能になる。

⑦ 活動報告

1 ; 講演会活動

井上理事長より報告があり、次回の講演会は、平成 23 年 9 月 24 日（土）に講演会を開催したい旨の発言があり、全会一致で承認された。平成 23 年度は、できれば年内の 12 月、もしくは、来年の 3 月にも講演会を開催したい旨の発言がなされた。

高知での講演会（高知の近森病院や地域の医師会、自治体との密接な連携体制がすでに構築されており、これまでに 2 回開催している）の開催、及び、神戸での講演会の開催（当 NPO 法人と神戸国際大学との間にはすでに緊密な協力関係が築かれている）、及び、従来の東京や福岡を含めた全国的な講演会の開催を考慮する旨の発言がなされた。講演会の周知に関しては、学生への周知（萩原先生が講義の際、お伝えくださる）、グーグル、ツイッター、ブログ、ラジオカフェ等を活用していく旨の提案があり、了承された。

次回の講演会の演者の候補者とし、村山昇作氏、桜田一洋氏、福岡伸一氏、森田伸一郎氏が推挙された。

2 ; ホームページ活動

井上理事長より、再生医療相談室における日常活動に関する報告がなされた。

再生医療相談室における日常業務に関しては、角担当理事に多大な御尽力をいただいている。患者さんや一般市民の方々からのホームページへの質問に対して、回答者チームが懇切丁寧に対応している実態に関する説明がなされた。再生医療相談室における当 NPO 法人の日常活動は、インターネット上で非常に高い評価を得ており、新しいホームページの始動により、より普遍的な高い評価が得られるものとおおいに期待される。

直接事務局へ電話や手紙で質問が来ることも多く、これらに対しても時間を惜しまず、誠心誠意、電話や手紙で対応をしている。再生医療相談室における活動は、当 NPO に課せられた最も重要な日常活動であり、今後のさらなる充実を図るべく最善を尽くしていく旨が報告された。

⑧ 役員推薦

前述のごとく樋口靖展氏が新たな理事候補として推薦され、全会一致で承認された。次年度の役員改正に際しては、より自発的、積極的な活動、連携体制が図れるような役員の構成をめざす旨、熱意あふれる行動力のある若い理事を導入していく旨、理事長から提言があり了承された。

⑨ 今後の活動方針、その他

寄付金取得、認定取得、及び普段のボランティア活動に対する個々の理事の自覚を促す提言がなされた。大熊理事から、各理事がささやかでも出来る範囲で自発的に行動することが大切である旨の発言があり、各理事から賛同が得られた。

(1) 講演会活動とホームページ活動（再生医療相談室）は当NPO法人の重要な基本的活動であり、さらなる充実、発展をめざす。

(2) 認定NPO法人の取得に向けて一致協力する。当NPO法人が認定法人の資格を取得すると、会員数の増加や、寄付金収入の大幅な増加が見込まれるので、NPO法人組織の構築をより機能的なものにしていくことができる。

(3) NPOの各理事が密接に連携し、ホームページをより良いものにしていく。当ホームページが世界的規模で認知され、世界に貢献できるようになることを目指していく。ヤフー米国、及び、ヤフーアジアへの登録を目指す。これらは、従来からの到達目標でもあり、本年度も積極的に推進していく

(4) 全国の患者さん団体・協会との連携、ネットワークの構築

当NPO法人は、再生医療を接点にして全国の個々の患者さん団体・協会との連携を深め、全国の患者さん団体・協会・関連団体などに十分にご理解、ご賛同を得た上で、当NPO法人の特別会員（年会費；無料）に入会していただき、患者さん団体・協会の相互連携を担う中枢組織としてとしてのネットワークを構築する役割を果たしていく。将来的には、患者さん団体・協会・関連団体と定期的な会合を持ち、私達の活動にご理解をいただける一般市民の方々とも連携しながら、国、地方自治体や企業、メディアに対する理解や支援を呼びかけていく。これらは当NPOが掲げる従来よりの重要な目標であり、本年度も目標達成に尽力する。

上記の活動方針が本理事会で承認された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成23年5月28日

議 長 井上 一知

理事人 大熊 藍子

同 角 昭一郎

日裏 彰人 饗庭 一慶 大坪 孝雄

金澤 正憲 河瀬 斌 川原 美枝

木村 正弥 古賀 まり 小茂川 邦彦

清野 裕 塚田 敬義 同前 雅弘

萩原 明郎 長谷川 豊 藤井 康雄

星野 順一 宮本 正章 山岸 久一

監事 大熊 正人